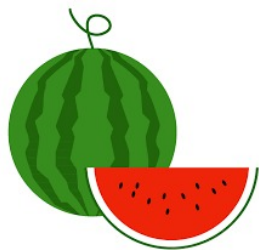


学校だより



そ っ た く
『啐 啄』



大津市立瀬田中学校 校長 奥村 公英

いよいよ明日から夏休みですが、いつもとは違い、大幅に少なくなって18日間となります。

コロナウイルスは東京を含む首都圏を中心に大幅な増加が見られ、その勢いは全国に拡大し、第2波が来ているように思われます。このため、本来、夏休み中に開催される予定であった瀬田学区「ふれあい親子まつり」や船幸祭など様々な地域の行事も中止になるなど、新型コロナウイルスは暗い影を落としています。そのような中、新型コロナウイルス感染症対策と熱中症対策を同時に行わねばならない夏休みですが、有意義に過ごしてほしいと思います。

さて、7月中旬から8月上旬に新型コロナウイルス感染症対策と熱中症対策を行いながら、3年生の交流試合等が行われます。春季総体に続き、夏の全国中学校体育大会や近畿大会、県大会や市の大会など大きな大会やコンクール等が軒並み中止となり、3年生が今まで努力し、積み重ねてきた力を発揮する場がなくなったことを受け、今回設定されたものです。（※ただし、種目によっては開催できない競技もあります。）

交流試合等にすでに参加したもしくはこれから参加する3年生の皆さんは、これまで培ってきた力を発揮する場所ができてよかったと思います。この交流試合等を開催するにあたって、多くの方々が尽力してくださいました。そのことに対する感謝の心を忘れないでください。そして、交流試合等が終わった後は、気持ちを切り替え、各自の進路決定に向けて邁進してほしいと思います。



(交流試合の様子)

新型コロナウイルス感染症対策と熱中症対策

今年の夏は新型コロナウイルス対策に加えて、熱中症対策にも取り組んでいかなければなりません。コロナウイルス感染症対策については、今までから何回も生徒の皆さんにお話してきたところです。7月15日に開催された生徒総会での挨拶でも、私は「一旦は落ち着いたように見えたコロナウイルスですが、東京を含む首都圏では感染者が大幅に増え、大阪や京都はじめ全国で感染者が増加傾向にあります。そのような中、今後も三密を避け、換気の徹底やマスクの着用、手洗い・咳エチケットの励行などコロナウイルス感染症対策を続けていかなければなりません。6月の学校通信に掲載したように『アナと雪の女王2』で何度も繰り返されたフレーズ「do the next right thing」、日本語では「やろう できることを」。まずは心身の健康を第一に考え、今、元気に過ごせていることに感謝し、この『with コロナ』の時代、できることを地道に続けていきましょう。」と話をしたところです。

その一方で、熱中症対策にも取り組む必要があります。熱中症を予防するために、以下のことに留意してほしいと思います。

涼しい服装



日陰を利用



日傘・帽子



水分・塩分補給



(環境省のHPより)

新型コロナウイルス感染症対策と熱中症対策 の予防のポイント⇒「三つのとる」

・ 距離をとる 2mほど（最低でも1m）の距離をとる。

・ マスクをとる

マスクの着用は、熱がこもりやすい、水分補給の機会が減る、のどの渇きに気付きにくいなど熱中症になるリスクが高くなる。十分な距離を確保したら、適宜マスクを外すことも必要。

・ 水分をとる

こまめに水分を補給する。 (NHKの報道番組より)

<お知らせ> 瀬田中学校ボート部の記事が「滋賀のスポーツ・教育情報誌【レイクスマガジン】 Lakes Magazine Vol. 105 2020.07」(無料)のP9に掲載されています。